ヨコハマこんなマチになりました

横浜市バリアフリー基本構想ビフォー／アフター

二俣川駅周辺

この冊子は「横浜市バリアフリー基本構想」により、令和３年９月までに実現した成果をお知らせするものです。

神奈川県立がんセンター周辺

電柱の移設及び歩行空間を広げました。

写真、電柱の移動前と移動後の写真

旭区地域子育て支援拠点ひなたぼっこ

看板を設置し、入口を分かりやすくしました。

写真、看板を追加した写真

バス停、二俣川銀座

バス停看板の向きを変えて歩行空間を広げました。

写真、バス停の看板の移動前と移動後の写真

信号、免許センター入口から本村町までの道路

横断歩道に視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。

写真、視覚障害者誘導用ブロックの敷設前と敷設後

二俣川駅南口交通広場

歩道を下げてタクシーに乗りやすくしました

写真、タクシー乗り場

バス乗り場へ視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。

写真、バス乗り場への誘導用ブロック

バスの行き先別に色分けをするなど乗り場案内を分かりやすくしました。

写真、バス停案内板

西友

歩道から入口へ視覚障害者誘導用ブロックを設置しました。

写真、歩道から西友入口へ敷設された視覚障害者誘導用ブロック

二俣川駅

バリアフリートレイに荷物を掛けることができるフックを設置しました。

写真、トイレ内のフックの写真

二俣川駅北口バスターミナル

バスターミナル出入りのために係員を呼んでいたものをゲート式にし、いつでも通行できるよう改善しました。

写真、バスターミナル出入口の変更前後の写真

アルコット二俣川

階段手すりを２段にしました。階段の先端に色を付け段差部分を分かりやすくしました。

写真、階段の手すり

二俣川駅北口共同ビル

スロープの床を滑りにくい素材へ、視覚障害者誘導用ブロックを分かりやすい色へ変えました。

写真、二俣川駅北口共同ビル内

二俣川駅周辺エリア

二俣川駅周辺エリアは、二俣川駅からおよそ500mから1,000ｍの範囲の徒歩圏に「神奈川県ライトセンター」などの医療施設、商業施設なども集まる、多くの人々が活動するエリアです。

そこで様々な立場の人々が、わかりやすく安全に駅や施設・道路を利用できるように平成24年５月にバリアフリー基本構想を作成しました。

バリアフリー基本構想とは

鉄道駅などの旅客施設を中心とした地区等で、高齢者。障害者等が利用する施設が詰まり、施設間の移動が通常徒歩で行われる地区（重点整備地区）において、公共交通機関、建築物、道路、路外駐車場、都市公園、信号機などのバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために作成する構想のことです。

バリアフリー基本構想では重点整備地区の範囲、バリアフリー化のために実施すべき事業（特定事業等）の内容などを定めます。

個々の施設のバリアフリー化だけではなく道路と施設などの連続性を確保したバリアフリー化のために基本構想を作成します。

横浜市ではこの基本構想に基づいて、まちのバリアフリー化を進めています。

バリアフリー基本構想に基づいた整備事業

バリアフリー基本構想に基づいて、各事業者が重点整備地区内のバリアフリー化の事業を実施します。

公共交通特定事業（旅客施設などのバリアフリー化に関する事業）

道路特定事業（歩道などのバリアフリー化に関する事業）

交通安全特定事業（音響式信号機の設置などに関する事業）

建築物特定事業（建築物のバリアフリー化に関する事業）

都市公園特定事業（公園のバリアフリー化に関する事業）

その他の事業（その他のバリアフリー化に関する事業）

バリアフリーの豆知識

歩道を平たんにする取り組み

横断舗装に接続する歩道部や車両乗り入れ部では歩道の勾配が急になっている場合があります。

歩道の勾配は、車いす使用者、高齢者、ベビーカーや歩行器での歩行、その他障害者等の通行に配慮してできるだけ小さくし、平坦性を確保しています。

絵、勾配が急になっている歩道と走行する車いす使用者、右矢印、勾配が平たんになった歩道と走行する車いす使用者

発行、横浜市道路局計画調整部企画課

令和４年４月発行

郵便番号231-0005、横浜市中区本町６丁目50番地の10

電話番号、045-671-4086

ファクス、045-651-6527

ホームページ

横浜市バリアフリー基本構想　検索